神戸新聞　2013/7/20　（第3種郵便物認可）

希少難病の薬名に希望を

"孤児の薬"呼び名変えよう

NPOが企画 葺合高生考案 レインボーやスマイルなど

希少難病の薬について新しい呼び名のアイデアを発表する生徒＝葺合高校

中央区

患者が少なく治療法が確立されていない「希少難病」向けの薬について、生徒が考えるワークショップが19日、中央区野崎通1の葺合高校で開かれた。希少難病向けの薬は利益が見込めず、製薬会社が開発しにくい状況から「オーファン（孤児の）ドラッグ（薬）」と呼ばれる。生徒たちは、英語と日本語で患者が希望を持てるような言い換えができないかを考え、発表し合った。（金井恒幸）

理化学研究所発生・再生科学総合研究センター（中央区）の西川伸一特別顧問が代表理事を務め、難病患者らを支援するNPO法人「オール・アバウト・サイエンス・ジャパン」（AASJ、同区）が初めて企画した。葺合高は英語教育が特色の国際科を設け、社会貢献に熱心なボランティアクラブもあることなどから実施校に選ばれた。

同クラブの1～3年生24人が参加。AASJメンバーがオーファンドラッグの説明をした後、生徒が付せんにアイデアを書き込みながら、1時間近くかけて言い換えの呼び名を考えた。アイデア発表では、「レインボー（虹）ドラッグ」「フェニックス（不死鳥）」「スマイル（笑顔）」などの案が「元気になれそう」「分かりやすい」と評価を受けていた。

2年の佐藤希さん(16)と有本朱理亜さん(16)は「難病で苦しむ人の薬が、今のように取り残された感じがする名前というのは良くない」。AASJの麻生陽子理事(48)は「他の高校でも考えてもらい、神戸から希少難病薬の新しい呼び名を世界に発信したい」と期待する。

県議垂水区補選あす投開票

4候補 支持拡大へ奔走

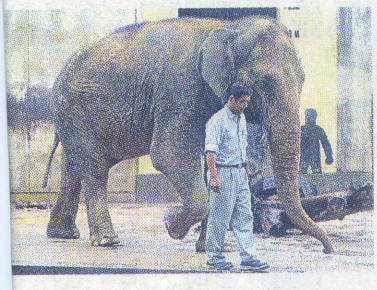
マリッジブルー

食事1週間「鼻」付けず

6月5日、王子動物園に1頭のアジアゾウが嫁入りした。姫路動物園の人気者「姫子」。王子動物園の「マック」との自然繁殖を目的に、姫路から約50キロ離れた神戸にやってきた。

新聞やテレビでは「結婚」と大々的に報じられて祝福されたが、オスと一緒になったからといって、簡単に間は出される食事にもほとんど「鼻」を付けなかったという。

この4月に入社したばかりの私も、自由気ままな学生生活から一変、仕事に追われ、バタバタもがいているうちに1日が終わる「就職ブルー」な日々。姫子の不安な気持ちはよく分かる。新しい環境で奮闘する姫子に声援を送りつつ、成長を見守りたい。（藤本淑子）



運動場に慣れる練習をする姫子＝市立王子動物園

やった!!夏休みだ

市内小中学校で終業式

市内の小中学校などで19日、1学期の終業式が一斉に行われた。小学1年生は初めての通知表を緊張した表情で受け取り、夏休みに思いをはせた。

兵庫区和田宮通6の和田岬小学校では、南馬進校長(55)が全校児童236人を星に例えてあいさつ。「皆さんが光り輝いて見える。1学期を頑張った証し」と語りかけ、「2学期に皆さんの元気な姿を見られるよう願っています」と夏休み中の健康を祈った。

1年の教室では、初めての通知表「あゆみ」を同級生と見せ合いっこ。桑島奈月さん(6)は「1学期は国語の勉強が楽しかった。あゆみも『○』がいっぱい。夏休みも勉強を頑張る」。一方、小学生である6(12)遊んと笑終小中援学あっ

大気データの市HPを閉鎖

不審ファイル発見

市は19日、市内の大気データを公開する「環境常時監視システム」のホームページ（HP）のサ

の測微小・5関連いるの被て不能を